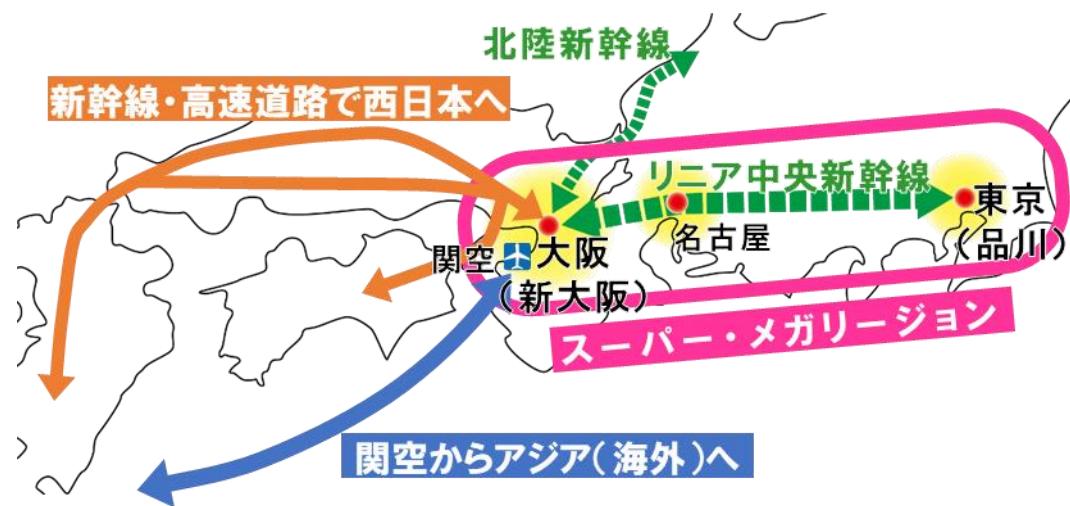


新大阪駅周辺地域のまちづくりのこれまでのうごきと 今後の取り組み

まちづくり方針の骨格の概要(令和2年3月作成)



【新大阪駅周辺地域のまちづくりの大きな方向性】

・大阪が、世界の中で存在感を発揮していくためには、日本各地との連携を深め、アジアと直接つながり、その活力を取り込み、進化しつづける国際都市となることが重要。

・新大阪の圧倒的な広域交通アクセスの良さを活かし、世界一の広域交通ターミナルのまちづくりを実現し、大阪の国際都市化のフラッグシップとなり、関西、日本の発展を支えることをめざす。

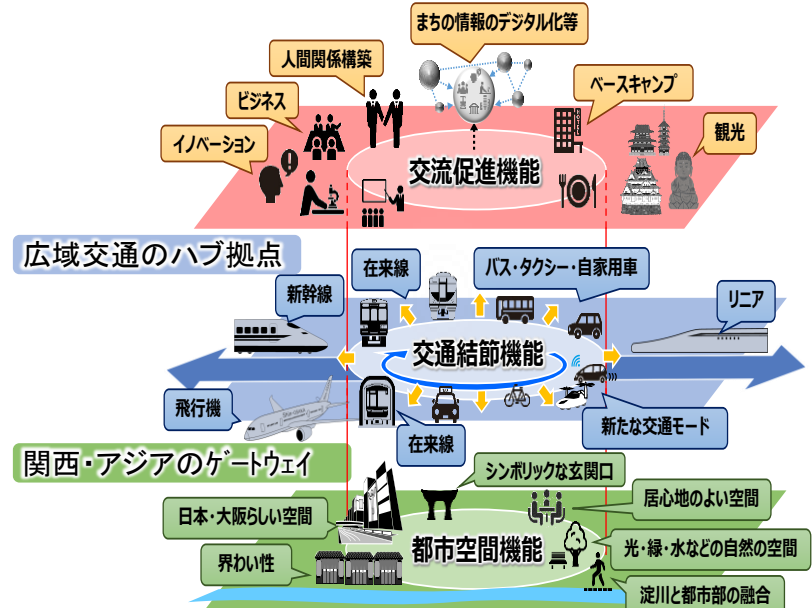
【担うべき役割と導入すべき都市機能】

(1) スーパーメガリージョンの西の拠点
＜交流促進機能＞

(2) 広域交通ネットワークの一大ハブ拠点
＜交通結節機能＞

(3) 関西・西日本・アジアから人を迎え入れる
国際都市のゲートウェイ
＜都市空間機能＞

スーパー・メガリージョンの西の拠点



新大阪駅周辺地域のまちづくりのこれまでのうごきとこれからの取り組み

これまでのうごき

- ・候補地域としての公表 2018.8
- ・検討協議会の組成 2019.1
- ・まちづくり方針の骨格の策定 2020.3

これからの取り組み

・3つの機能(交流促進・交通結節・都市空間)の検討

(北陸新幹線の駅位置の方向性)

・まちづくり方針の策定

3つの都市機能向上の方針

民間都市開発の方向性

土地利用計画、インフラ整備計画

・都市再生緊急整備地域の指定

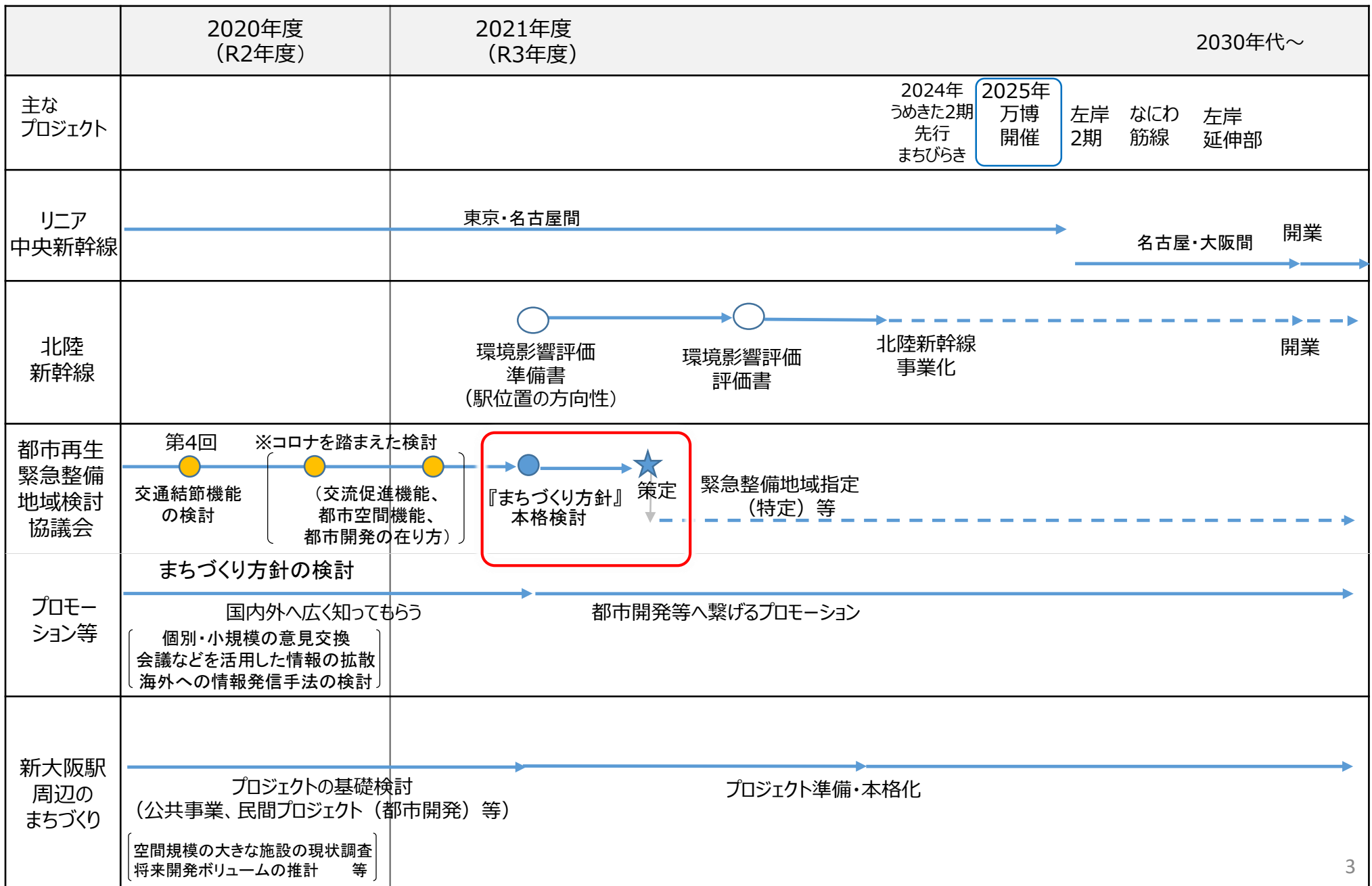
・都市開発や公共施設整備

・プロモーション等

・民間都市開発のニーズ

・民間都市開発の組成

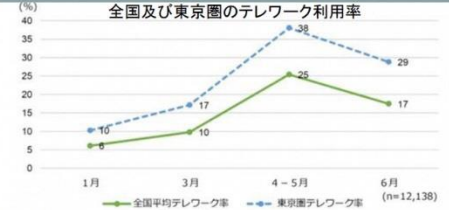
新大阪駅周辺地域のまちづくり及び都市再生緊急整備地域検討協議会の進め方



新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性(概要)(R2.8.31公表)

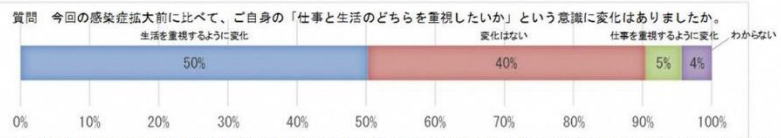
■新型コロナ危機を契機とした変化

テレワークの進展



(※)テレワーク利用率：インターネット調査モニターである就業者(自営業主等を含む)に対して、テレワークの利用の有無を調査し、有と回答した者の割合
 (※)東京圏：東京、神奈川、埼玉、千葉
 (出典)「第2回テレワークに関する就業者実態調査報告書」(令和2年8月2日(公財)NIRA総合研究開発機構)

生活重視に意識が変化



(出典)「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和2年6月21日内閣府政策統括官(经济社会システム担当))

- 職住近接のニーズが高まり、働く場と居住の場の融合が起こっていく可能性
- オフィス需要に変化の可能性。老朽中小ビルなどは余剰発生の可能性
- 東京一極集中の是正が進みやすくなる可能性
- ゆとりあるオープンスペースへのニーズの高まり

※なお、感染症対策という面では、ハード面の対応のみならず、日常の手洗い、体調不良の際は休むといったソフト面の対応の徹底が重要

都市の持つ集積のメリットは活かしつつ、「三つの密」の回避、感染拡大防止と経済社会活動の両立を図る新しいまちづくりが必要

■今後の都市政策の方向性

ヒアリングを踏まれば、人や機能等を集積させる都市そのものの重要性に変わりはなく、国際競争力強化やウォーカブルなまちづくり、コンパクトシティ、スマートシティの推進は引き続き重要。こうした都市政策の推進に当たっては、新型コロナ危機を契機として生じた変化に対応していくことが必要。

- 大都市は、**クリエイティブ人材を惹きつける良質なオフィス**、住環境(住宅、オープンスペース、インターナショナルスクール等)、文化・エンタメ機能等を、郊外、地方都市は、住む、働く、憩いといった様々な機能を備えた「**地元生活圏の形成**」を推進
- 大都市、郊外、地方都市それぞれの**メリット**を活かして魅力を高めていくことが重要
- 様々なニーズ、変化、リスクに対応できる**柔軟性・冗長性を備えた都市**が求められる
- **老朽ストックを更新し、ニューノーマルに対応した機能**(住宅、サテライトオフィス等)が提供されるリニューアルを促進
- 郊外や地方都市でも必要な公共交通サービスが提供されるよう、**まちづくりと一体となった総合的な交通戦略**を推進
- **自転車を利用しやすい環境**の一層の整備が必要
- 街路空間、公園、緑地、都市農地、民間空地などまちに存在する**様々な緑やオープンスペースを柔軟に活用**
- **リアルタイムデータ等を活用し**、ミクロな空間単位で人の動きを把握して、平時・災害時ともに過密を避けるよう**人の行動を誘導**
- 避難所の過密を避けるための**多様な避難環境**の整備



良質なオフィス、テレワーク環境の整備



居心地の良いウォーカブルな空間の創出



都市空間へのゆとり(オープンスペース)の創出

■今後の検討の進め方

上記の都市政策の実現に向けた具体的方策を検討するため、**本年秋頃を目途に有識者からなる検討会**を設置し、検討を深める。